

## ガバナーメッセージ

### ロータリーは、新世代を育む場

国際ロータリー第2750地区 2010-11年度 ガバナー 辰野 克彦



9月は新世代月間です。ロータリーでは、新世代とは年齢30歳までの若者となっています。将来を担う新世代に目を向け、彼らを巻き込むことの大切さを改めて認識し、国際ロータリーは、本年度より4大奉仕に、新世代奉仕を加え、5大奉仕としました。

今年のサン・ディエゴにおきます国際協議会で、全世界の8万5千人の若者を3年間調査・研究し、「The New Rules of Engagement」を著されたオーストラリア出身のマイケル・マックイーン氏の講演を聞くことができました。氏のご講演、ご著書で言われておられますことを紹介し、新世代のことを考えてみたいと思います。

氏は、世代を ①Builders 65歳以上 ②Baby Boomers 団塊世代65歳-45歳 ③X世代 45歳-30歳 ④Y世代 30歳-15歳 ⑤Z世代 15歳未満に分け、その特徴を分析されました。Y世代がロータリーでいう新世代と合致しますし、氏は主にY世代とその前の世代を比較し分析されていますので、この二つの分類で、特徴を記してみます。

Y世代とその前の人々と、どう違うのでしょうか。

1. 前世代にとって、真実は絶対、Y世代にとっては、真実は人により違う。だから、大人がShould何かをしななければならないと言うと、始めにWhy何故と聞き返す。
2. Y世代は、年上とか権威とかで尊敬することはなく、理由が要る。
3. 前世代は、忍耐は美德であったが、Y世代には忍耐は意味がなく、欲求不満になるだけで、忍耐を必要としないものにシフトしていく。
4. 携帯電話は、前世代の人にとっては、「電話」であるが、Y世代にとっては単なる電話でなく、アイデンティティの延長。

5. 前世代にとっては、未来は直線的ではっきりしていた。Y世代は5年先も不定と考えている。未来は不確かで、発展もし、選択肢が多過ぎるので、あまり早く一つに決めて道を狭めないようにする。

6. 前世代は、会社に対し面倒を見てもらうと同時に、忠誠をつくす。Y世代は自分が学び、技術を身につけて次の最もよい条件のついた機会へのプロセスと考える。会社への忠誠心は感じられず、自分の生活に仕事が合うかを問題とする。

7. 前世代は知識欲から学んだが、Y世代は実益を重視し、短時間の集中力しかないが、機器をマルチに使いこなしながら学ぶ能力には優れている。

等があげられます。今の若者は、自己中心、物質主義、礼儀知らずといった傾向がある。しかし、この世代が、世界をグローバルに捉え、野心と新しいアイデアにあふれ、テクノロジーに通じているのも事実であると指摘しておられます。

氏は、若い世代を巻き込んでロータリーを活性化していく為に重要なポイントとして

- 1) 上の世代からの助言・知恵・指導を求めているY世代が、心から尊敬でき、異なる世代とのつながりを育める場にする。
- 2) 人前で貢献や功績を個人的に褒められることを求めるY世代に常にポジティブなフィードバックをする。
- 3) プロセスでなく成果に注目するY世代が理解できるように、彼らの貢献がどういう目的につながっているかを説明する。

と挙げられました。

今後、元気な年長者と若者が共存するロータリーの中で、また企業経営、家庭で、未来を託す若い世代に大人も自信を持ってリーダーシップを発揮しつつ、違いを超えて彼らとよい未来を築いていきたいものです。

## INDEX

※ ③～⑭は、地区ホームページ(Web)上に掲載しております。

<http://www.ri2750.org/>

1 ガバナーメッセージ

2 インターアクト委員会【IA年次大会について】

3 地区行事日程

4 銀座・日本橋グループ 活動通信

5 京浜グループ 活動通信

6 山の手西グループ 活動通信

7 多摩中グループ 活動通信

8 多摩東グループ 活動通信

9 広報委員会 活動通信

10 ロータリー財団委員会 活動通信

11 クラブ紹介(赤坂RC/中央RC/蒲田RC/田園調布緑RC)

12 クラブ紹介(杉並RC/神宮RC/城南RC/町田・中RC)

13 クラブ紹介(八王子東RC/昭島RC/国立RC/狛江RC)

14 クラブ紹介(稲城RC/サイパンRC/タモンベイRC)

15 ガバナーノミニエ候補者募集  
寄付報告/文庫通信/物故

16 出席報告/編集後記

## インターアクト委員会【IA年次大会について】

地区インターアクト委員会 委員長 古澤 俊明 (東京西南RC)

今年度のIA年次大会は、2010年7月31日(土)、国立オリンピック記念青少年センターにて、韓国第3650地区ガバナーエレクトのムーン・トクハン様、韓国インターアクター4名(日韓短期留学生)、顧問教師1名、当地区のロータリアン286名、ローターアクター6名、そして、インターアクター141名と顧問教師18名という多数の皆様にご参加頂きました。暑い最中の広い会場の移動に熱中症の心配がありましたが無事ある年次大会ができました。

年次大会の主催は、各IACが輪番制をとっております。しかし、今年度は、当初、攻玉社IACが部員2名なのでホスト役を辞退したいとの申し出がありました。攻玉社の部員が少なければ10あるIACが協力してやりましょうということになり、各IACの代表者数人ずつが攻玉社の教室に何回となく集合して準備を進め、大会を運営しました。皆さんが結束できたことに大いなる意義がありました。

今年の大会テーマは、

「**未来へつなげるボランティア2010**」に決定しました。

基調講演は、スペシャルオリンピックス日本理事長の有森裕子様

「**私とスペシャルオリンピックス～思いつづければ夢はかなう～**」と題して熱く語っていただきました。小さい頃は、飛び抜けて優れた選手ではなかったが、大学の陸上部に断られ続けても何度も何度もトライしてオリンピックに出られるまでに至ったという体験談は、若い中・高生の皆さんのみならず、参加者全員に大きな感動を与えたものと思います。講演の後、品川女子IACの皆さんの指導で、参加者全員がミサガ作りをしました。ミサガとは、手芸の組みひもの一種で、手首や足首に巻き付け、紐が自然に切れたら願い事がかなうというもので、スペシャルオリンピックス支援用です。

分科会は、

テーマ①「**スペシャルオリンピックス**」

テーマ②「**救命(災害ボランティア)について**」

テーマ③「**未来のボランティアについて**」の各テーマ別討論会が行われました。

テーマ①では、知的発達障害者にスポーツの場を提供し、自立と社会参加を促進するという「スペシャルオリンピックス」の活動をどのようにして世の中に広めてゆくかについて討論しました。

テーマ②では、救命の実演を交えて、自然災害、事故などに遭遇したとき、私達は、どういう形で手助けできるのか、具体的な活動について討論しました。

テーマ③では、ボランティアを必要としている理由を知り、本当に共感できるボランティアをやる、など将来のボランティアのあり方について討論しました。

ロータリーは、住みよい社会を作るための社会奉仕、世界平和のための国際奉仕が大切であると考えていますが、この目的は、一朝一夕では達成できません。若いうちからこの運動に取り組んでもらうことが必要で、IACは、そのためにできたクラブといえますので、いずれのテーマもインターアクト活動に密接に関連したテーマでした。

今年度からカナディアンインターナショナルスクールのIACが仲間入りをしたことが紹介されました。このクラブは、日本を含めた多くの国籍のメンバーで構成されています。IACが真の国際理解をかなえる大きなチャンスであると思います。

今年の年次大会は、東京品川RCの鶴橋誠一様を実行委員長とし、IACを提唱していただいている14のロータリークラブの皆様と、2つのRACの皆様で実行委員会を構成し、また、昨年度の地区IAの皆様、今年度の地区IAの皆様、特に東京府中RCの事務局の方に絶大なるご協力を得て開催することができました。感謝申し上げます。





2010-11年度 地区行事日程 (9-10-11月)

9月 1日 (水)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京町田東・東京町田・中	町田エルシィ
9月 2日 (木)	11:20 ~ 13:30	公式訪問 東京南	東京會館
9月 3日 (金)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京大崎・東京白金	グランドプリンス高輪
9月 3日 (金)	15:00 ~ 17:00	2010-11年度 拡大運営会議	ガバナー事務所
9月 5日 (日)	15:00 ~ 19:00	2010-11年度 青少年交換委員会「帰国報告会」	国立オリンピック記念青少年総合センター
9月 6日 (月)	11:20 ~ 13:30	公式訪問 東京渋谷	セルリアンタワー東急
9月 7日 (火)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京恵比寿、東京神宮	ウェスティンホテル東京
9月 8日 (水)	15:20 ~ 19:30	公式訪問 東京城西、東京西南、東京杉並	ホテルニューオータニ (夜間例会)
9月 8日 (水) ~ 9月 9日 (木)		2011-12年度 ガバナー・エレクト研修セミナー (GETS)	グランドプリンスホテル新高輪
9月 10日 (金)		2011-12年度 地区研修リーダーのためのセミナー (DTLS)	グランドプリンスホテル高輪
9月 9日 (木)	11:20 ~ 13:30	公式訪問 東京広尾	六本木ヒルズ森タワー
9月 13日 (月)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京三鷹、東京井の頭	
9月 14日 (火)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京芝、東京みなと	東京プリンスホテル
9月 15日 (水)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京羽田、東京大森	羽田空港ビックバード6階「ギャラクシーホール」
9月 15日 (水)	15:00 ~ 17:00	2010-11年度 千代田Gリーダーシップ育成セミナー	ガバナー事務所
9月 15日 (水)	14:00 ~ 16:00	2011-12年度 ガバナー補佐研修会	ロイヤルパークホテル
9月 16日 (木)	17:50 ~ 20:00	公式訪問 東京自由が丘	自由ヶ丘学園
9月 17日 (金)		東京田園調布 創立40周年記念式典	第一ホテル東京
9月 18日 (土) ~ 9月 20日 (月)		2010-11年度 RYLAセミナー	府中の森
9月 21日 (火)	11:20 ~ 13:30	公式訪問 東京原宿	グランドプリンスホテル赤坂
9月 22日 (水)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京国立、東京国立白うめ	
9月 24日 (金)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京立川、東京立川こぶし	立川グランドホテル
9月 27日 (月)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京調布、東京調布むらさき	調布クレストンホテル
9月 27日 (月)	15:00 ~ 17:30	2010-11年度 会員増強セミナー	立川グランドホテル4階「カルロ」
9月 28日 (火)	17:30 ~ 20:00	公式訪問 東京多摩 (17:30~18:20懇談会/18:30~20:00例会と懇親)	オークラレストラン多摩
9月 29日 (水)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京小金井さくら、東京小金井	
9月 29日 (水)	15:00 ~ 17:00	2010-11年度 運営会議	ガバナー事務所
9月 30日 (木)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京成城、東京成城新	ハイアット・リージェンシー東京
10月 5日 (火)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京日野、東京飛火野	高幡不動尊
10月 6日 (水)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京八王子南、東京八王子西	八王子エルシィ
10月 7日 (木)	9:20 ~ 13:30	公式訪問 東京八王子、東京八王子北、東京八王子東	京王プラザホテル八王子
10月 12日 (火)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京日本橋、東京日本橋西	ロイヤルパークホテル
10月 13日 (水)	11:20 ~ 13:30	公式訪問 東京麻布	ANAインターコンチネンタルホテル東京
10月 13日 (水)	14:00 ~ 16:00	2011-12年度 ガバナー補佐研修会	ロイヤルパークホテル
10月 13日 (水)	16:00 ~ 18:00	2010-11年度 米山記念奨学委員会 第2回 カウンセラーセミナー	新宿京王プラザホテル 47F あげぼ
10月 14日 (木)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京昭島、東京昭島中央	フォレスト・イン昭和館
10月 15日 (金)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京日本橋東、東京シティ日本橋	
10月 15日 (金)	15:00 ~ 17:00	2010-11年度 地区拡大役員会 (含むグループ幹事/全委員長)	AP浜松町
10月 19日 (火)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京武蔵国分寺、東京国分寺	国分寺ターミナルビル (4月1日以降確定)
10月 20日 (水)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京世田谷、東京世田谷中央	渋谷エクセル東急
10月 21日 (木)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京町田サルビア・東京町田	町田エルシィ
10月 22日 (金)	16:20 ~	公式訪問 東京狛江、東京たまがわ	JAマインズ狛江3F
10月 23日 (土)	9:20 ~ 11:30	公式訪問 東京米山友愛	ホテルニューオータニ
10月 23日 (土)	15:00 ~	東京多摩グリーンRC 創立20周年記念式典及び同祝宴	バルテノン多摩小ホール (式典)、 京王プラザホテル多摩3階「白鳳の間」(祝宴)
10月 26日 (火)	11:20 ~ 13:30	公式訪問 東京世田谷南	セルリアンタワー東急
10月 27日 (水)	10:20 ~ 13:30	公式訪問 東京銀座、東京銀座新	
10月 28日 (木)	9:20 ~ 13:30	公式訪問 東京目黒、東京城南、東京青山	青山ダイヤモンドホール (仮)
10月 29日 (金)	11:20 ~ 13:30	公式訪問 東京赤坂	ANAインターコンチネンタルホテル東京
11月 1日 (月)	9:20 ~ 13:30	公式訪問 東京築地、東京中央、東京中央新	
11月 4日 (木)	15:00 ~ 17:00	2010-11年度 拡大運営会議	ガバナー事務所
11月 4日 (木) ~ 11月 6日 (土)		2010-11年度 韓国 第3650地区大会	ソウル ハイアットホテル
11月 8日 (月)	16:00 ~ 20:00	2010-11年度 山の手東G インターシティミーティング	ホテルニューオータニ
11月 9日 (火)	18:00 ~ 21:00	東京恵比寿RC15周年記念例会	ウェスティン東京
11月 10日 (水)	14:00 ~ 16:00	2011-12年度 ガバナー補佐研修会	ロイヤルパークホテル
11月 11日 (木) ~ 11月 21日 (日)		公式訪問 PBG	
11月 24日 (水)		2010-11年度 R財団地域セミナー	
11月 25日 (木)		2010-11年度 RI会長歓迎晩餐会	
11月 25日 (木)		2010-11年度 メジャードナー午餐会	
11月 25日 (木)		2010-11年度 第2回 ガバナー会会議	
11月 25日 (木)		2011-12年度 第2回 ガバナー・エレクト研修セミナー (GETS)	
11月 25日 (木)		東京調布むらさきRC20周年記念例会	
11月 25日 (木) 夕方		RI会長歓迎晩餐会	リーガロイヤルホテル (出席:辰野G、片倉GE、佐久間GN)
11月 26日 (金) ~ 11月 27日 (土)		第39回 ロータリー研究会	大阪国際会議場とリーガロイヤルホテル
11月 27日 (土)	14:00 ~ 16:30	2010-11年度 ライラリアン勉強会	JICA地球ひろば
11月 29日 (月)		2010-11年度 多摩南G インターシティミーティング	

※上記の地区行事日程は変更する場合がございます。予め事前にご確認の上、ご参加下さい。 ★青文字は片倉年度の行事予定です。

## 銀座・日本橋グループ 活動通信

### 銀座・日本橋グループ各クラブ会長の「今年度活動方針・テーマ」

ガバナー補佐 岩瀬 敬一郎（東京銀座RC） / グループ幹事 井原 博之（東京銀座RC）

銀座・日本橋グループ各クラブ会長の「今年度活動方針・テーマ」を中心に纏めました。従って表現で小生の言葉足らずになっている部分も有ると思いますが何卒ご寛容の程を。

無論RIレイ・クリギンスミス会長の「ロータリアンでない人にもロータリーは何をする団体かが判るテーマにしよう」と『地域を育み、大陸を繋ぐ』（Building Communities Bridging Continents）については充分お判り頂いていることと思います。

そして第2750地区辰野克彦ガバナーのメッセージでは「ロータリアン、クラブそして地区がアイデアを出し合い、出来る限り効果的な奉仕に向かうべき」と言われております。

そのような前提でグループ各クラブ会長の言葉をお伝えします。

**\* 東京銀座 RC：塚本清士郎会長**

「示そう！銀座の心意気」(具体的には5つの重点方針あり)

**\* 東京日本橋 RC：直江一雄会長**

「奉仕とは何かをもう一度考えよう」(柱となる活動計画を5項目、片倉ガバナーノミニーへのご支援・ご協力)

**\* 東京築地 RC：武田和久会長**

「未来のため、ひとのために」(=クラブの将来と地域の為良い社会創りをひろげる)

**\* 東京日本橋東 RC：涌井恭行会長**

「会員一人一人にとり活気ある楽しい会へそして家族の多くの方々のご参加いただけるよう努めて参りたい」

**\* 東京中央 RC：豊島転三会長**

「ロータリー精神の高揚と普及」(RI会長方針に沿い奉仕活動を開始中、創立25周年〔2013年3月22日〕)

**\* 東京日本橋西 RC：御田信博会長**

「Yes, we can」(そうです、私たちはやり遂げます)

**\* 東京銀座新 RC：森和昭会長**

「和やかにして銀座らしい格調高いクラブ」(具体的重点目標6つを掲げている)

**\* 東京シティ日本橋 RC：大川幸一郎会長**

「ロータリーを学び、ロータリーを楽しもう」(LEARN ROTARY & ENJOY ROTARY) (更に4つの運営方針を掲げている)

**\* 東京中央新 RC：時枝紀子会長**

「進化し続ける『エネルギーで楽しいクラブ』」(具体的には6つの活動方針を掲げている)

私達ガバナー補佐・グループ幹事としては、当面グループ内各クラブ協議会への参加、ガバナーのクラブ訪問など一層磨きをかけ、各クラブが活発にクラブライフを推進されるようにサポートして参ります。



## 京浜グループ 活動通信

## ミクロネシア・プログラム

東京大井RC 広報・情報委員会 理事 朝倉 昭

会員数が少なく、平均年齢の高い(年初72.8歳)ことは、CLPのスタディーを加えて、メンバーごと、またクラブ全体のロータリー活動の充実に、とても有効と考えています。今年度も“Enjoy Rotary”(1989～90年度RIテーマ)を常に模倣し、ロータリーのアクティビティーにかかわり、達成するよるこびを明るく増力してまいります。

当クラブは先年末、南太平洋離島での飲料水問題に大きい成果をあげてまいりました。そして先刻「特定非営利活動法人(NPO)ミクロネシア支援活動会議」の認可を得、関係国大使館などと協議、有効活動を期しています。また、シスタークラブのノーザングラムRCと、毎年クラブ員関係の小中学生を主とした短期のホームステイ・プログラムを続けています。グアム側には、鉄道、高層ビル、お正月や雪などを実感することがよるこばれています。

また、ささやかながら「ミクロネシア基金」も発足しており、南太平洋地域の水問題をテーマにした講座を、グアム大学かミクロネシア・カレッジ(ポンペイ)に寄贈することを夢んでいます。



## 立会川と龍馬像

東京京浜RC 井上 忠道

京浜急行立会川駅。ここには土佐藩の下屋敷があったという事から、坂本龍馬ゆかりの地として脚光を浴びています。

NHKの大河ドラマで福山雅治さん主演の「龍馬伝」が始まると、駅前の龍馬像や浜川砲台跡が数多くのメディアで取り上げられました。

しかし、この龍馬像はプラスチック製です。幕末の動乱期に高い志を持ち、己が信ずる道を生きた龍馬の像としては威厳に欠けると言わざるをえません。

そこで、クラブの広報活動の一環として東京京浜ロータリークラブでは町おこしのお手伝いをさせて頂く事と致しました。

クラブメンバー植松氏の『本物の銅像を寄贈しよう』という提案がから始まり、銅像製作には立体写真像(株)盛岡氏(クラブメンバー)に大変な応援を頂き、ドラマ「龍馬伝」の終了までに大急ぎでの製作に取り掛かっております。

『世に生を得るは事を為すにあり』

龍馬は世間の人々に何を言われようが、己の志を実現する為に若き故の情熱で人生を駆け抜けました。この情熱と行動力に溢れる若き日の龍馬を立会川に銅像として迎え、クラブとして事を為す事が出来ればという思いで活動しております。

除幕式には是非とも福山雅治さんを招聘させて頂き、大いに盛り上げたいと考えております。福山雅治さんにお願ひできます伝手がございます方は何卒ご一報頂きたくお願い申し上げます。



## 宮古島でのボランティア活動

東京高輪RC 会長 板橋 昌一

東京高輪ロータリークラブでは宮古島出身の会員がいる事がきっかけとなって、地元東京品川から少し(?)離れた宮古島でのボランティア活動を実施しています。

クラブ創立10周年を記念した宮古島ツアーの際にマングローブ林での植樹や少年野球教室の開催等ボランティア活動を行いました。海岸線の侵食対策に注目されているのがマングローブの存在だそうですが、マングローブという植物があるわけではなく潮間帯に植生する植物のことをマングローブと呼ぶそうです。台風の影響でその植樹した木の殆どが倒れてしまったのですが、その後再度訪問して成育13年目のオヒルギを植樹しました。植樹の他には老人保健施設を訪問してクラブ会員の歯科医師による高齢者の義歯リベース(裏打ち)等も行っています。又、地元宮古ロータリークラブとの合同例会を開催させて頂いた事もあり、大変有意義な活動となっております。

毎年の訪問は難しいかも知れませんが今後も継続していきたい活動のひとつです。



## 山の手西グループ 活動通信

### 本年度の活動について

東京世田谷RC 会長 高橋 茂樹

「ロータリーは親睦と奉仕が車の両輪である。」という言葉をよく耳にしますが、私どもは、ロータリーは奉仕を行なうことが中心であるべきと言う観点から、「奉仕と言う大きな車輪を動かすための大切な歯車が親睦である。」と言う考えで、いろいろな活動を進めています。

本年度は、すでに奉仕活動として7月31日～8月1日に開催されました世田谷区民まつりに参加させていただき、「暮らしの生活相談」と銘打って、ロータリアン各自の専門職を生かした暮らしの相談コーナーの常設ブースを開設しました。また、同時に「BMX フリースタイルショー」、「チャリティーオークション」を特設ステージ等で行い、ロータリー活動のPRを兼ねて、広く来場者のご理解とご協力と呼びかけました。

8月11日には、親睦活動として「納涼例会」を開催しました。本年度は、上野の「鈴木演芸場」で寄席を楽しんだ後、森鷗外の居宅をそのまま保存している「鷗外荘」にて、「舞姫」を執筆したとされる部屋を貸し切って、懇親会を開催しました。お座敷での宴会形式での懇親会は、お互いに心を割って話をするにはちょうど良い場であったようでした。

今後の活動としては、8月21日に東京品川RCとの共催で「たまがわ花火大会観賞会」を、9月12日には日ごろお世話になっています渋谷駅近辺の「清掃活動」を行ないます。

私ども東京世田谷ロータリークラブは、ここ数年間、毎年国際奉仕プロジェクトを実施してきましたが、本年度は4つの国際奉仕プロジェクトを進めています。

その内の1つは、本年度辰野ガバナーが推奨されているクラブ合同プロジェクトとして取り上げていただいた「カンボジア教師育成支援プロジェクト」です。PETS等でお声掛けをさせていただき、お蔭様で10クラブにご参加いただきました。11クラブ合同事業として、地区のDDFの承認もいただき、現在、マッチング・グラントの申請をしているところです。2つめは、「タイの病院に医療機器(バイタル・サイン・モニター)を寄贈するプロジェクト」で、こちらも同様に地区のDDFの承認をいただき、マッチング・グラントの申請中です。その他に、「フィリピンへの医療機器(エコー)寄贈プロジェクト」と同じく「フィリピンへの消防車寄贈プロジェクト」を現在、調整を進めているところです。

充実した親睦活動を行ない、会員同士の双方向のコミュニケーションをより活性化したものにすることで、数多くの奉仕活動が成功裏に実現できると思っています。いろいろな活動に向かって「心も行動も一つになる」ことを目標に、本年度のキャッチフレーズを「Hand on Hand, Heart to Heart」としました。今後も、クラブ全体が一つになって奉仕活動に、親睦活動に邁進していきたいと思っています。



## 多摩中グループ 活動通信

## 25周年は、ガラパゴスからの風に乗って

東京立川こぶしRC 会長 鈴木 茂

携帯電話のガラパゴス化という言葉をご存知でしょうか。これは日本独自の進化と発展を続ける携帯電話が、日本人向きの商品開発を追求していった結果、世界的な規格とは方向性がずれて、世界販売戦略に於いて苦境に立たされていることを言います。世界から隔離された、あのガラパゴス島の野生動物が、独自の進化を遂げたことになぞられてのことです。

日本という極東の島国も、かつてはその地理的特異性も相まって、日本独特の文化や発想、そして政治的・経済的にも、独自の世界観を持つことにより今日まで発展をしてきたともいえます。しかし、情報化、グローバル化された現代社会においては、もはやそれは通用しないことと知りつつも、その思考記憶は日本人にとって捨てがたい思いもあるようです。ロータリークラブの中でも、時として、ガラパゴス的議論・即ちもっと地域にスタンスを置けというような意見が聞こえてきます。それは、ロータリーのグローバル化に敏感に反応する少数メンバーの悲鳴なのか、あるいは新たな方向を見出せない、そのストレスのはけ口としての言葉なのかもしれません。

RIさらに地区に於いては、もともと「ロータリーはクラブが中心であり、クラブがあつてのロータリーです」と言われてはいますが、一方では、毎年新しいRI会長のテーマのもとで、各クラブは、その一年間を運営することを望まれています。いえ、その二律背反も、それはそれとして決して悪いということではなく、現に当クラブのテーマは「地球こそわが故郷、地域に根を張れ、25周年」とし、真にRIのテーマに沿ったものと自負さえしています。

しかし、少々臍曲がりな私は、会長として25周年の事業を考えた時に、敢えて、さらに積極的に地域に向き合い、事業によって地域をアピールし、そして地域に向けてロータリーの存在をPRすることに、強く舵を切ってみました。それは、従来のロータリーらしく、謙虚で鷹揚に構えた紳士の活動方法とは対極にあるということを知りつつも、まずは※「やってみなはれ」という精神で、次のようなやや風変わりな事業も含む企画を立て、取り組んでみることにしました。

勿論、発想の原点は「クラブが中心のロータリー」であります。そこから何が生まれて、その評価は如何に。それは、あのガラパゴスイグワナを恰好いいと見るか、醜いと評価するかによって、いやいや、ロータリーの良識のもとで、判断されるものとなるでしょう。

## 1. 立川文学賞の創設

日本語で書かれた未発表小説を募集。テーマジャンルは不問。新しい文学の息吹を感じさせるものを歓迎し、受賞作は本にして出版します。(詳細は<http://kobushi-rc.jp/>参照)



写真(1)：審査委員長 志茂田景樹氏と

## 2. 絵本の製作と米空軍のチャリティー事業への協力

50数年続くミクロネシア諸島へのクリスマスプレゼント投下事業の話に感銘した当クラブ会員が、それをヒントに絵本を製作し、地域に向けて販売し、ロータリアンとして物心両面で協力する。これは又、第2750地区内クラブの協力をいただき、クラブ合同奉仕プロジェクトとしても取り組んでいます。

## 3. その他全ての記念事業も、地域を強く意識して行う。

※「 」はサントリーの創始者である鳥井信治郎氏の言葉

**絵本を買ってあなたもセンター!**

私たちは東京立川こぶしロータリークラブは、創立25周年を記念して、多くのロータリークラブとの共同で絵本プロジェクトとして絵本を制作いたしました。

題名は、実際に50数年続く「クリスマス・ドロップ」という人道支援活動をもテーマにしたもので、この絵本は長く読んでおきたい絵本と、一緒にクリスマスプレゼントを贈りたいと考えています。絵本は、実際に50数年続く人道支援活動をもテーマにしたもので、この絵本は長く読んでおきたい絵本と、一緒にクリスマスプレゼントを贈りたいと考えています。

クリスマスドロップ  
ミクロネシアの天使たち  
Christmas Drop  
Angela in Micronesia

予約販売受付中  
¥1,000円

売上金はすべて事業に寄付されます。  
送料別、お申し込みは下記へ

**ミクロネシアの天使たち** (日・英語 絵本) 50数年続く人道支援活動ミクロネシア諸島に送られるクリスマスプレゼントをテーマとしています。でもそれは、奥に読む天使たちが描いたことだからです。・・・と書こうとした時、絵本の売上金はバウチャー代金として寄付され、ミクロネシアにプレゼントが届けられます。

お問合せ先： 東京立川こぶしロータリークラブ 事務局  
住所：立川市西町2-10-10 緑川ビル3F  
TEL: 042-527-0524 FAX: 042-522-5241  
HP: <http://kobushi-rc.jp/> E-mail: [kobushi@kobushi-rc.jp](mailto:kobushi@kobushi-rc.jp)

東京立川こぶしロータリークラブ創立25周年記念事業

写真(2)：絵本ポスター

## 多摩東グループ 活動通信

### 地域を育み、大陸をつなぐ

東京府中RC 会長 松村 一夫

我が東京府中ロータリー・クラブは今年度創立49年目を迎えました。この間、将来の日本の地域社会を担う、若い新世代の教育は何よりも大切なことと考えクラブ創立から間もない時期から新世代の育成に力を注いで参りました。その中でも特に青少年交換学生には力を入れ、昨年度もベルギーとフランスへ派遣していただき、本年度もフランスへ派遣していただきクラブを挙げて喜んでます。その帰国歓迎会と壮行会が市内のホテルで行われ帰国生の帰国報告と挨拶に会員皆ビックリいたしました。留学一年の成長ぶりは目を見張るものを感じられます。ロータリアンとして、このプログラムは感動ものです。今年も女子1名がフランスへ派遣されますが、来年、また同じ様な感動を得ることができることでしょうか。受け入れには、いろいろと諸問題もあるようですが、RI会長テーマに沿った“地域を育み、大陸をつなぐ”プログラムです。



青少年交換学生を囲んで



例会での帰国報告 松島周子さん



例会での帰国報告 庄司愛美さん

### 地域社会と東京調布ロータリークラブ

東京調布RC 会長 加賀美 陽三郎



何年ぶりかの猛暑が続く今日この頃ですが、調布市はこの猛暑の中でもNHKの朝ドラ、ゲゲゲの女房で一層熱く盛り上がっております。全国民が必死に生き、全力で努力し、隣組で助け合って生きていた時代、日本人の生活の原点のような風景、情景、会話、全てが青春時代と重なり、近年にない高視聴率を得ているのもうなずけます。調布市を代表する、「天台宗別格本山 深大寺」「神代植物園と深大寺そば」「天神通りのゲゲゲのキタロウ」の写真の他、水量の豊富な多摩川等があります。

東京調布ロータリークラブはクラブNO.14973 創立1963年 創立順位568現在創立48年目で50周年を2年後に迎えます。京王線調布駅前のクレストンホテルで毎週月曜日12時30分～13時30分が例会です。ぜひ例会にご参加ください(welcome)。

当該年度はクラブ奉仕、職業奉仕を重点施策とし、社会奉仕、国際奉仕、新世代に活動の場を計画いたしました。

- 1) 早くも7月24日(土)多摩川の花火大会(調布市主催)に市内の小中学校8校の特別学級の児童、生徒、父兄約120名を招待し社会奉仕委員会を中心に多数の会員が接待会場の設営、案内、飲食のお世話、片付けに参加されご参加の方々と共に花火を満喫し、午後8時過ぎに大きな拍手のもと散会となりました。楽しく有意義な1日でした(社会奉仕活動として毎年実施しております)。
- 2) 地域のお祭り；調布よさこい祭り、調布市体育大会等の催しに毎年参加します。通年事業としては12月に開催される、調布市福祉バザーに参加し会員の持ちよった多種、多様の多くの品物を会員自らが販売し、福祉活動に全額寄進いたします。
- 3) 当年度の多摩東グループガバナー補佐 岩倉氏 は東京調布クラブの会員です。研修の場、会員の維持増強施策としてI.M.は必要と岩倉ガバナー補佐は考え多摩東グループのI.M.を実施いたします。東京調布ロータリークラブ内に実行委員会を設け福沢実行委員長を中心として鋭意準備中です。平成23年1月31日調布市文化会館たづくり くすのきホールで開催予定です、多くの会員のご参加をお願いいたします。多摩東グループのロータリアンが一同に集い研修の場として、親睦の場としてにぎやかに、厳粛に開催されることを望んでいます。ロータリアンが企画し、準備し、実施する研修の場です、もちろん経費も皆様ロータリアンの負担です。有意義な研修を、有意義な1日をみんなで共有いたしましょう。



## 広報委員会 活動通信

## 地区広報委員会の活動

広報委員会 委員長 水野 雅生（東京銀座新RC）

各クラブの広報を支援させて頂くことが地区広報委員会としての役目ですが、本年も継続事業として東京マラソンを支援して行くことになっています。

その他の事業として、「都会の中にあってもミツバチを通して、自然環境の大切さを感じ、そこから自然と共生する街の活動を続ける」ことで地域社会にロータリークラブの活動をアピールして行く事を広報委員会の事業とすることになりました。

具体的には：

- 1) ミツバチなどが好む花や木を植える活動を広める。公園や街路樹、屋上緑化や壁面緑化などを提案する。
- 2) 地域に合う、出来るだけ管理費が掛からない緑化に繋げる努力。
- 3) 活動は、地域の子供達、高齢者、障害者など様々なコミュニティに繋げる。例えば、野菜や果樹などが採れた場合は、ハチミツと合わせてスイーツなどの地域限定の商品を作りにも挑戦する。地域での顔と顔の見える関係の広がり強化し、自然環境の大切さを感じていただく機会を作る。
- 4) ミツバチを通して環境教育の実践。

各学校などに、ガラスケースに入れたミツバチを持参して、教材を使いながら地域環境でミツバチなど昆虫の役割を伝える出前授業を実践する。

各クラブの広報活動では、ミツバチを通してみた多様な都市のみどりと社会の有るべき姿を提示し、地区全体に広がるように広報委員会が支援します。

銀座での養蜂事業から、様々な街の自然環境が手に採るように理解できるようになってきました。まさしく最初に環境の変化を真っ先に肌で感じるのが養蜂です。当初の活動はハチミツを採ることが何よりの目的でしたが、銀座周辺にある満開のソメイヨシノの下で皆さんお弁当を食べたり、お花見をしている上でたくさんの“銀ばち”達（銀座のミツバチ達の愛称として呼びます）が訪れて仕事をしていました。後ろ足には大きな花粉団子（この花粉は幼虫を育てるための大切な蛋白源）を付けて働いている姿を見て、見方が変化していきました。桜の花は、その後たくさんの実を付けはじめ、しばらくするとその実を鳥が食べ始めたのです。その後、夏に発生する毛虫を食べてくれる。何と小さな昆虫達が、銀座周辺の生態系を動かし始めていたのです。ミツバチと桜の木々は、私たちの宴会のために咲いていたのではなく、まさに太古の昔から相思相愛の命の巡りを繰り返すパートナーだったのです。こうした小さな命のつながりを通して、たとえ街の中であっても自然環境と共生する事の大切さを伝えようと考えに至ったのです。

各ロータリークラブの活動に養蜂事業に参画してみても如何でしょうか。



ハチミツ採取をする地区広報委員会の田中君（主催者）、  
武笠君、大沢君、矢野副委員長、水野委員長

## ロータリー財団委員会 活動通信

### ポリオ撲滅チャリティー・100kmウルトラマラソン

ロータリー財団委員会 委員長 福井 衛 (東京武蔵府中RC)

皆さんは100kmを走り抜くことができますか? 「ええー、そんなことできませんよ!」と誰もがお思いになると思います。ところが、当地区のロータリアンにそんな超鉄人の方がいらっしゃるのです。そのロータリアンは東京中央ロータリークラブの木村清信さんです。

木村さんは今年の6月27日に北海道で開催された「第25回サロマ瑚100kmウルトラマラソン」で見事完走されました。タイムは12時間7分50秒。木村さんはこのマラソンへの参加を「ポリオ撲滅・世界への贈り物」と銘打ち、ロータリアンはじめ多くの方に事前にチャリティー基金(金額自由)を申告してもらい、完走することができたら基金をお支払い頂き、その方の個人のお名前で当地区ポリオプラス委員会を通じてポリオチャリティー寄付に多大な協力をされています。以下に木村さんの自筆による完走記録をご紹介します。



**チャリテイスポンサー募集!!**  
ポリオ撲滅・世界への贈り物  
2010.6.27「第25回サロマ瑚100kmウルトラマラソン」が完走されました。毎年最長距離の超長距離マラソン大会として注目を浴びています。今年も多くの皆様からご協力を頂戴いたします。

誰かの健康しと昔は5000円を駆け付けるまでには難儀のがある  
100kmを走り抜くまでには、申告したチャリティー基金(金額自由)を申告していただき、完走したら基金をお支払い頂き、その方の個人のお名前で当地区ポリオプラス委員会を通じてポリオチャリティー寄付に多大な協力をされています。以下に木村さんの自筆による完走記録をご紹介します。

お申し込み先: 東京武蔵府中RC  
E-mail: eido-rotary@rotary.or.jp

**撲滅まであと4%  
最後の子どもに投与を!**

『第25回サロマ瑚100kmウルトラマラソンが6月27日午前5時にスタートしました。前日の気温は37℃と北海道では異常な暑さ。明日のレースはどうなるのだろうかと不安な前日であった。

100kmウルトラマラソンの出場は今回で4回目になる。昨年より「ポリオ撲滅・世界への贈り物」と題してチャリティー基金を募ることを思いついた。チャリティーにご協賛いただける方に事前申告(寄付金)してもらい、私が完走した場合、申告基金のお支払いをお願いするという企画です。昨年は40数万円というチャリティー基金が集まりR財団に寄贈させていただきました。今年は多方面の方々から100通を超える応援FAXやメールを頂戴いたしました。心から感謝申し上げます。

スタート地点に立つ事、1年をかけシューズの底をすり減らし踏み重ねた結果がそこにある。当日スタート時の気温19℃、気温上昇予想がアナウンスされる。予想気温32℃。立ち並ぶランナー達がどよめく。天を仰ぎ、応援してくださった方々の声を再び思い返してみる。

いよいよスタート。カウントダウンが始まる。号砲とともに走者4000人が一斉に走り出す。順調な滑り出し。早め早めに給水を取るようにする。気温も距離と同様に上り始めてくる。

2.5kmごとにかぶり水。10k、20k、先頭ランナーとすれ違う。ウウ!早い(ワイナイナ選手) 30k、40k、42.195k通過。55k地点で炭水化物補給(俵にぎり)。通常はここで着替えたり、シューズを取り替えたりするが、今日の展開はそんな余裕無く、すぐに次を目指す。57k地点水が無い!バケツ空っぽ。次まで我慢のしどころ。何!両膝外側が痛み出す!突然足が上がらなくなる。完走だけを目指す事に気持ちを切り替えECO走法に切り替え。あと40k持つか?

ECO走法と給水に気を配り、タイムを落しながらではあるが少しづつゴールへ近づく。原生花園に突入、気持ちをさらに切り替えゴールを目指す。下り坂が膝に堪える思わず声が出る。原生花園の折り返しあと10数キロ、後は心折れないことだけ。痛みと暑さとの戦い。皆のメッセージや声を思い出しながら歯を食いしばる。最後あと2k。沿道での暖かい声援。「おかえりなさい」所々で聞こえる。「ありがとう」と伝えながらゴールへ。あと少し。今年もゴール出来た。思わず目頭から一滴こぼれてしまいました…。

これを機に、ユニークな企画奉仕が発展し、より多くの世界の子供達に贈り物が出来るよう祈念し、またひたすら走りたいと思います。』

木村さん、本当にありがとうございます。そしてお疲れ様でした。皆さんも木村さんに大きな声援を送ってください。



## クラブ紹介

## 東京赤坂ロータリークラブ

2010-11年度 会長 吉岡 琢磨



当クラブは東京南ロータリークラブをスポンサークラブとし、1986年10月17日に国際ロータリーに正式加盟しRI第2750地区に属しております。本年度のクラブテーマは「原点に帰ろう 友情と絆 行動する赤坂ロータリークラブ」です。ロータリーの原点を考えると、いつも私は入会時に諸先輩方々からロータリーとは奉仕団体として出発したわけではなく「親睦と相互扶助」を目的として結成され、親睦が先で奉仕はあとから自然発生したものである事を教わりました。すなわち「親睦と奉仕」を車の両輪に考える組織はロータリーにおいて他にはないと考えております。この機会にもう一度、皆様と強い友情と絆で愛される東京赤坂RCにしたいと思っております。東京赤坂RCは現在会員数が49名です。例会はANAインターコンチネンタルホテルで毎週金曜日の12時30分から13時30分迄おこなっております。

会員数に関しては、一時期に70名を超える会員数でしたが、高年齢会員や不況の影響等により退会者、休会者が増加したため会員数の純減が続きましたが、長期計画を策定し、魅力のあるクラブ作りを行い2011年6月末には純増11名を目指して60名にしたいと考えており、現在会員増強委員長を中心と成り会員全員が目標に向かっております。当クラブは友情と絆を基本とする明るく自由な雰囲気を持ち、しっかりとした職業奉仕理念の実践をおこなっております。

さて、今年のRIテーマは「地域を育み、大陸をつなぐ」ですが、当クラブは韓国の公山城ロータリークラブ(RI第3680地区)と友好関係にあります。国際奉仕活動の面から考えても隣国と友好的な状況はともて好ましい事と考え、相互交流も現在行っております。現在、副会長高須康有さん、幹事橋本年男さん並びに各委員会の方々と共に、友情の輪が広がり、絆の強いクラブ作りをしております。是非皆様も東京赤坂ロータリークラブにお越し下さい。心よりお待ち申し上げます。

ホームページアドレス：<http://www.akasakarotary.com/>

## 東京中央ロータリークラブ

2010-11年度 会長 豊嶋 耘三

私たちの東京中央ロータリー・クラブは次年度に創立25周年を迎えます。

例会は日比谷公園近くの帝国ホテルで、木曜日に12時半から開催

しています。『和気あいあい・多士さいさい』をモットーに、『親睦と奉仕』を旗頭に240名を超える会員で構成され、年齢は30歳代から90歳代の会員で、平均年齢は61歳です。同好会は20種を超えて親睦活動に更に貢献しています。

中央大学RACをスポンサーし、若者すなわち未来のロータリアンを育成、応援しています。

奉仕活動は、『手話ビデオ』、『盲導犬とともに』等を製作し、福祉・医療関係者に配布等身近なものから取り組み、また緑を多く取り入れた街路樹等環境に優しい取り組みをしています。海外奉仕活動は、サイクロンで学舎を失ったミャンマーの子供たちに学舎の再建や台風で被害に遭ったフィリピンのホームレスの子供たちへの炊き出し用のモバイルキッチンマッチング・グラントを活用し贈呈したりしております。楽しいロータリー・クラブです。是非メイクアップにおいて下さい。



## 東京蒲田ロータリークラブ

2010-11年度 会長 村山 和雄

今年度は「身近な奉仕を広げていこう」というテーマで大田区近隣の施設への支援活動、大森学園高等学校インターアクトへの支援などを続けている。今年8月7日、韓国第3650地区から地元のインターアクト30名が来日した折に両国のロータリークラブ関係者とともに大森学園インターアクトとの交流会をにぎやかに開催した。さらに前年度からの中学・高校生へのインターンシップ受入れへの協力や地区重点項目の合同奉仕プロジェクトへの初参加を決めている。そして前年度に引き続きR財団地区補助金を活用しての障害者への支援事業を計画中である。

また単年度だけでなく、継続的な奉仕活動としてのテーマを検討するためあらたに「長期ビジョン委員会」を立ち上げている。これからもクラブの活性化をはかるうえにやはり退会防止と会員増強にも力を入れる必要があり、そのために会員同士が例会に参加し楽しく交流会できる風土を築きあげたいことをめざしたい。



大森学園高校IACと韓国3650地区IACとの交流会 (2010年8月)



大田フェスタへの出展 (2009年11月)

## 東京田園調布緑ロータリークラブ

2010-11年度 会長 中村 孝

東京田園調布緑ロータリークラブは、東京田園調布ロータリークラブをスポンサークラブとして、1992年8月7日に創立致しました。現在の会員数25名、東京実業高等学校インターアクトクラブを東京大森ロータリークラブと共同提唱しております。炉辺会議・家族会・各種イベント実施等、親睦活動は活発で会員同士の絆を大切にしています。

2年後の2012年に創立20周年を迎えます。課題は、最近の会員の減少に鑑み、創立20周年に向けて30名の会員にするという事です。地域社会奉仕として多摩川河川敷清掃にインターアクトクラブと共に参加、久原小学校にバケツ稲作り・久が原福祉園等地域の福祉施設への協力、国際奉仕としては、創立10周年記念事業としてチュークのザビエル高校へコンポストトイレの寄贈、前年度は同じくチュークの州立病院に焼却炉の寄贈を行っております。



## クラブ紹介

### 東京杉並ロータリークラブ

2010-11年度 副会長 豊福 伸欣

各クラブには、それぞれの特徴・個性があるものです。特徴の第一として、当クラブには派閥らしきものが全くありません。ゴルフ仲間、囲碁仲間、飲み仲間といろいろな仲間はありますが、各会員が自由にいろいろな仲間の中を楽しく行ったり来たりしています。古参も新参も隔てなくフランクに話ができる雰囲気もとても良いです。だからといって、全然不満が発生しないわけではありません。時々ですが、会員の賛否を取りまとめないうちに、突発的に大きな行事が決まる場合があります。例えば、「〇〇シンポジウム」や「〇〇コンサート」等。突然役割や費用を決められた寝耳に水の会員は、「どうなってんだ」「仕事の予定があるのに」と直前まで喧嘩囂々。しかし、いざ当日になると、出張先から飛行機で戻ってきたり、ほとんどの会員が顔を揃えて、何の問題もなかったように受付や募金に取り組んでいるのです。ホント気の良い会員たちです。



### 東京神宮ロータリークラブ

2010-11年度 会長 吉井 栄

東京神宮ロータリークラブは1994年にオープンした恵比寿ウェスティンホテル東京を例会場として同年5月に設立、明治神宮の名前を頂き男女平等(日本ロータリー史上初の女性チャーターメンバー)、会員平均年齢38歳、世界グローバル現役経営者を中心に毎週水曜日12時半～1時半に例会を開催しております(第5水曜日がある場合は夜間例会)。

会員向け情報発信はEメールにて行われ、趣味同好会は歌舞伎、グルメ、ゴルフ、を通して会員相互の親睦を図っております。奉仕活動として16歳のハローワーク(7年目)、身障者へのアイススケート経験支援(スケートTODAY3年目)、カンボジャの子供たちへの支援(3年目)などの継続事業を行っております。送付の写真は今年行われたスケートTODAYの写真です。



### 東京城南ロータリークラブ

2010-11年度 会長 小澤 晴夫

東京城南ロータリークラブは、日本初の朝クラブとして1984年に創立されました。

創造的奉仕によるクラブの活性化を目指し、これまで数多くのユニークな奉仕活動を模索してきました。会員維持増強が叫ばれる日本ロータリーの中で、2009～10年度は、エネルギーあふれる若い会員が8名も入会し、当クラブが日本のロータリーの「会員活性化モデル」になると確信しています。

今年度は、例会内容も一新し、毎月の「ロータリーの友」のトピックスの内容を会員が弁護士の視点から例会時に紹介し、「ロータリーの友」の情報を会員一同が共有できるようにしています。これもマンネリ化、型に嵌った例会に新しい味付けを行う工夫だと考えています。是非、新しいスタイルのロータリークラブをお訪ねください。お待ちしております。



### 東京町田・中ロータリークラブ

2010-11年度 会長 三澤 克巳



東京町田・中ロータリークラブは、1980年東京町田ロータリークラブをスポンサークラブとして設立し、91年には東京町田東ロータリークラブを拡大しております。昨年度は創立30周年を迎え、記念事業として「町田市小中学生の環境学習支援」を行い、4月24日には町田市青少年施設ひなた村において、学習支援校9校の中から選ばれた3校の児童・生徒が学習成果の発表を行い、久瀬ガバナーをはじめ、多摩南グループ会長・幹事並びに町田3クラブの会員の皆様方のご出席をいただき、創立30周年記念式典を挙行することができました。式典後、鯉のぼりが元気に泳ぐ青空の下、会場となった「てっぺん広場」で手づくりのトン汁・おにぎり等で子どもたちと楽しく昼食を摂り周年事業を祝うことが出来ました。

本年度は2つの奉仕活動として、周年事業内容を予算縮小して継続事業とすることを決めました。もう一つは町田聾話学校の耐震工事協力募金です。予算化はせず、クラブ会員全員参加でチャリティとして募り「目標額達成」を掲げ社会奉仕を目指します。

## クラブ紹介

## 東京八王子東ロータリークラブ

2010-11年度 会長 井草 眞一郎

当クラブは、昨年末に会長予定者の(仕事上の理由による)突然の退会があり、会員数25名という状況の中で、創立30周年の年を迎えています。

会員 協力し合いながら周年事業の一つとして、「AED救命器具関連」の支援金を、八王子消防署に贈呈しました。

また 青少年交換学生 派遣生をあずかり、ベルギーに派遣させるべくスポンサークラブとして1年間、準備とお世話をしてきましたが、8月18日(水)成田空港に見送りに行き、無事出立祝いをいたしました。



## 東京国立ロータリークラブ

2010-11年度 クラブ広報理事 岡本 正伸

東京国立RCは、昭和41年2月23日、東京立川RCをスポンサークラブとして設立し、一昨年創立40周年を迎えました。現在第42代三田浩一会長のもと総勢50名の会員が一丸となってクラブ運営に取り組んでいます。例会場は谷保天満宮において午後12時30分から行っています。東京国立RCは、クラブの伝統を重んじ、地元に着目した活動を目指し、例年市民と一体となって、どんど焼きやさくらフェスティバル等多くの活動を行うとともに、青少年の育成には特に力を入れた取り組みを行ってきました。設立以来継続して、市内の全小学校新入生を対象に交通安全のランドセルカバーを贈呈、また、「他人の子供を叱る運動」は全国に広がると共にRI意義ある業績賞を受賞しました。また、昨年度は、地元中学生と青少年交換学生らとの交流活動においてガバナー賞を、中学生を対象とした「命を大切に作るポスター展」においてRI会長賞を頂きました。これからも、多くの先輩諸兄が育んできた伝統と実績に恥じない奉仕活動を目指します。皆様、是非一度多摩の伝統ある神社、谷保天満宮にご参拝がてら例会にお越し下さい。会員一同ご来訪を歓迎致します。



## 東京昭島ロータリークラブ

2010-11年度 クラブ広報委員長 小山 善治

当クラブは東京立川RCをスポンサークラブとして1968年に創立されて以来、各種の事業を立ち上げてまいりました。クラブとして誇れるローターアクトクラブ、啓明学園インターアクト・ユースアクトクラブの3アクトクラブを5・30・40周年記念事業として創立し、各クラブとも地域に根付いた活動を積極的に行っております。

8月7・8日に開催された昭島市民くじら祭りは、夏の恒例事業として1973年に第1回を開催して以来、現在では多くの市民に親しまれております。本年はポリオ撲滅チャリティコーナーを設け、東京昭島RCを来場者にアピールするとともに善意の浄財を頂戴し、地区の財団に寄託しました。



## 東京狛江ロータリークラブ

2010-11年度 会長 濱田 孝

今年度は、クラブ創設40年目の年に当たります。この間、色々な先輩方が行ってきた奉仕活動は、その一つひとつが市民と共に、或いは、市民のために行われてきたものばかりのように思います。改めて諸先輩方の確固たる理念に敬意を感じます。当クラブ創設40周年記念事業には、クラブ会員全員が実行委員になりこれに当たる事となっていますが、今回も沢山の市民のお応援を頂きながら進めていくことになると思います。また、時を同じくして、狛江市も今年が市政施行40周年の年に当たります。狛江市の周年事業とも連携していくこととなりますが、かかる中、本年6月26日に小田急線狛江駅南側に位置する弁財天池に300匹の源氏ホタルを放ち「ホタルを鑑賞する夕べ」が開催されました。おおよそ一千人の老若男女が参加し、それぞれが暗闇に青白く輝く幻想的な蛍の光軌に歓声を上げていました。



## クラブ紹介

### 東京稲城ロータリークラブ

2010-11年度 クラブ広報委員長 糞谷 信之

1973年1月に創立し、現在今年で38年度を向えたクラブです。本年度の会長吉川正一の下、クラブ会員全員をもって、RI会長テーマである「地域を育み、大陸をつなぐ」、そしてクラブ会長テーマ「混迷の時代、今こそロータリーの心を」を実践する為、会員は各委員会に複数所属し会員相互の活動をより活発化し、「ロータリーの心を」精神や行動で表すことを心がける。例年の継続事業として「知的しょうがい児者との体験教室」、市民まつり参加事業として「オリジナルカレンダー無料作製」・「クラブPR展示」、子供達の健全育成を目的とする「フットサル大会の主催」、そして、会員及びその家族や、東京稲城ロータリークラブを囲む各種団体との交流・親睦を図るとともに、多種に渡る企画を行っている。活動も会員数が影響する。本年度は特に会員増強に力を入れ、より高度な“ロータリーの心を”を実現する努力をする！



### ROTARY CLUB OF SAIPAN



### タモンベイロータリークラブ

2010-11年度 会長 マリー・P・トーレ

タモンベイRCでは、問題意識を共有しながら  
主要な問題に集中して取り組んでいきます。

タモンベイRCは主要な問題に集中的に取り組むことによって「地域を育み、大陸をつなぐ」というテーマを実現していきます。またロータリーの精神、四大奉仕や4つのテストなどの伝統を守ることによって国際ロータリーに誇れるクラブであるよう努めます。これらの基本的価値観を通じてこそ、私たちはロータリアンとして問題意識を共有することができると思っています。

RY2010-2011の会員はみなロータリーのロゴ入りポロシャツを受け取りました。誇りをもってこのポロシャツを着衣し、地域でロータリアンや他の方々と協力しながら、私人としてそして職業人として、そして地域の一人として、私たちの執り行う様々なプロジェクトにおいて超私の奉仕を提供することによってロータリークラブへの理解を深めていければと考えております。



タモンベイRC ポロシャツ

当クラブではメンバーシップ委員会を設立し、メンバーの区分を整理しました。強化した方がいい分野を見直すことによって地域の中から適切な人材を探し出し、よりバランスのとれたメンバーシップを志向します。地域活動としては「ギフト・オブ・グアム」事業を継続いたします。これはタモンにあるイパオ公園のジョセフ・F・フローレス公園の修繕を中心としたものです。これらの活動を通じてタモンベイRCは国際ロータリーの精神を体現していきます。



修繕前



修繕後



## ガバナー・ノミネー候補者 推薦について

国際ロータリー細則第13条(13.010.)及び第13条(13.020.4.他)に則り、国際ロータリー第2750地区のクラブは、2013～2014年度のガバナーに就任する予定のガバナー・ノミネー候補者を1名推薦することが出来ます。

なお、地区ガバナー指名委員会がその選出を行うに当っては、「その選出の範囲は地区内クラブによって提案された氏名に限定されるものではない」ことを予めご承知置き願います。(同細則第13条 13.020.5) 本件に関する推薦を希望されるクラブは、RI細則を参照の上、2010年10月29日(金)迄に、地区ガバナー指名委員会(ガバナー事務所内)に必着するよう候補者推薦書をご提出ください。

### 米山功労者ご紹介

ご協力感谢您いたします

#### 米山功労者

豊嶋 紘三君	東京中央	2010.7.6	1
河村健次郎君	東京世田谷南	2010.7.7	5
水田 誠君	東京武蔵府中	2010.7.7	1
宍戸 嘉一君	東京中央	2010.7.9	1
矢作 稔君	東京中央	2010.7.9	2
勝野 隆昭君	東京昭島	2010.7.9	6
妻鹿健次郎君	東京世田谷	2010.7.13	10
大木 稔君	東京府中	2010.7.15	1
高野 紘一君	東京府中	2010.7.15	2
齋藤 莊三君	東京中央	2010.7.16	2
平田 文男君	東京武蔵府中	2010.7.21	1
鈴木 正二君	東京立川	2010.7.22	14
豊泉 幸夫君	東京立川	2010.7.22	5
馬場 欽次君	東京立川	2010.7.22	6
佐藤 勇二君	東京蒲田	2010.7.23	6
村上 保裕君	東京府中	2010.7.26	1
村口 正君	東京白金	2010.7.30	4

### ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル ご協力感谢您いたします

◎ 入交太三雄君	東京中央	2010.7.9
土屋 肇君	東京中央	2010.7.9
◎ 河村健次郎君	東京世田谷南	2010.7.9
◎ 妻鹿健次郎君	東京世田谷	2010.7.16
◎ 高橋 茂樹君	東京世田谷	2010.7.16
細野 征男君	東京みなと	2010.7.23
渡辺 俊之君	東京みなと	2010.7.23
◎ 井上 敏之君	東京城南	2010.7.23

### 新ベネファクターご紹介

該当者なし

### 文庫通信 (275号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

#### 地区大会講演より

- ◎ 「ロータリーの歴史をふまえて」  
南国義一 2010 2p (D. 2770)
- ◎ 「UNPD親善大使として、見えたこと、感じたこと」  
紺野美沙子 2010 2p (D. 2770)
- ◎ 「日本人のこころ」  
徳川恒孝 2010 10p (D. 2590)
- ◎ 「日本のこれから」  
藤原正彦 2010 4p (D. 2590)
- ◎ 「世界の水問題」  
金杉 誠 2010 6p (D. 2590)
- ◎ 「先人に学ぶロータリーの心 日本人の職業倫理」  
島田燁子 2010 3p (D. 2530)
- ◎ 「先人に学ぶロータリーの心 江戸時代の京都商道～石門心学とロータリー」  
木戸邦孝 2010 4p (D. 2530)
- ◎ 「現代に生かす 戦国武将の知恵」  
松平定知 2009 8p (D. 2800)

上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)



〒105-0011  
東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506  
http://www.rotary-bunko.gr.jp  
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

## 深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



蒲田 善一郎 (東京品川RC)

2010年7月6日逝去 (享年86歳)  
1973年9月6日入会  
1993-94年度 クラブ会長  
1998-99年度 京浜グループ ガバナー補佐  
ポール・ハリス・フェロー (マルチプル4回)  
ベネファクター 米山功労者 (3回)



笠原 紀夫 (東京南RC)

2010年7月24日逝去 (享年69歳)  
2003年6月12日入会



藤田 博之 (東京日本橋西RC [名誉会員])

2010年7月20日逝去 (享年90歳)  
1966年6月 東京日本橋RC入会  
1975-76年度 地区副幹事  
1987年4月 東京日本橋西RC設立のため移籍  
1988-89年度 クラブ二代目会長  
1998年6月 正会員退会 名誉会員となる  
ポール・ハリス・フェロー  
米山功労者 (マルチプル3回)



高山 成雄 (東京南RC)

2010年7月25日逝去 (享年94歳)  
1985年4月18日再入会 (1967.12.7~1982.2.4 在籍)  
1977-78年度 地区副幹事  
1987-88年度 クラブ会長  
第85回米山功労者メジャードナー  
米山功労法人  
ロータリー財団メジャードナー  
ベネファクター

★国際ロータリー第2750地区出席報告 (7月分)★  
District 2750 Membership Attendance Report July 2010

区分	クラブ名	例会	出席率	会員数			区分	クラブ名	例会	出席率	会員数		
				10年7月1日	10年7月末	増減					10年7月1日	10年7月末	増減
千代田グループ	東京南	5	77.16	178	176	-2	多摩南グループ	東京八王子	5	90.16	59	59	0
	東京芝	4	90.93	95	95	0		東京町田	5	70.95	56	56	0
	東京新橋	4	79.90	51	52	1		東京日野	4	91.88	36	36	0
	東京赤坂	5	75.00	48	49	1		東京八王子西	4	80.75	71	71	0
	東京みなと	4	86.50	48	49	1		東京町田・中	4	78.81	38	38	0
	東京レインボー	3	79.83	39	39	0		東京八王子東	5	85.00	25	25	0
銀座・日本橋グループ	東京麻布	4	75.00	22	22	0	東京八王子南	4	85.79	53	53	0	
	東京銀座	4	78.36	158	157	-1	東京町田サルビア	5	90.62	24	25	1	
	東京日本橋	4	83.10	180	181	1	東京飛火野	4	76.65	30	30	0	
	東京築地	3	84.07	64	64	0	東京町田東	4	83.33	25	25	0	
	東京日本橋東	3	81.58	52	52	0	東京八王子北	3	92.71	33	34	1	
	東京中央	5	77.10	238	241	3	東京立川	5	95.00	97	97	0	
京浜グループ	東京日本橋西	4	81.25	44	44	0	多摩中グループ	東京小金井	5	98.02	30	31	1
	東京銀座新	5	82.09	69	71	2		東京国分寺	4	97.40	43	43	0
	東京シティ日本橋	5	74.34	49	49	0		東京三鷹	4	87.80	41	41	0
	東京中央新	3	72.90	38	38	0		東京昭島	5	79.31	53	53	0
	東京羽田	4	88.66	43	46	3		東京国立	4	98.95	50	50	0
	東京品川	5	87.10	62	62	0		東京立川こぶし	4	89.73	79	80	1
山の手東グループ	東京大森	5	94.64	49	49	0	多摩東グループ	東京井の頭	3	91.70	24	24	0
	東京品川中央	4	88.33	58	58	0		東京昭島中央	4	76.00	42	42	0
	東京大井	4	77.94	18	17	-1		東京武蔵国分寺	3	83.00	47	47	0
	東京田園調布	5	85.20	45	45	0		東京小金井さくら	4	79.35	23	23	0
	東京港南	4	72.22	18	19	1		東京国立白うめ	3	87.97	17	19	2
	東京大崎	4	92.10	38	38	0		東京府中	4	89.43	61	62	1
山の手西グループ	東京蒲田	3	94.40	62	61	-1	パシフィック・ペイソングループ	東京調布	3	90.16	61	61	0
	東京京浜	3	85.71	23	23	0		東京多摩	4	83.65	22	23	1
	東京田園調布緑	4	78.71	25	25	0		東京狛江	5	88.00	30	30	0
	東京マリン	4	73.53	17	17	0		東京稲城	5	69.91	30	31	1
	東京白金	3	84.50	28	28	0		東京武蔵府中	4	77.49	57	57	0
	東京高輪	2	82.50	25	25	0		東京たまがわ	4	75.96	26	26	0
山の手西グループ	東京西	5	71.13	152	152	0	東京多摩グリーン	4	80.43	36	38	2	
	東京城西	3	66.45	77	77	0	東京調布むらさき	4	82.01	82	82	0	
	東京西南	4	82.45	52	53	1	Guam	5	53.00	66	67	1	
	東京原宿	4	85.66	26	25	-1	Saipan	4	56.25	39	39	0	
	東京杉並	4	71.97	40	42	2	Tumon Bay	4	40.19	88	86	-2	
	東京神宮	4	67.23	29	29	0	Northern Guam	4	54.10	39	38	-1	
山の手西グループ	東京恵比寿	4	71.20	96	96	0	Pohnpei	3	47.00	21	21	0	
	東京広尾	5	82.00	20	20	0	Palau	4	52.00	15	15	0	
	東京渋谷	3	78.71	40	40	0	Guam-Sunrise	4	51.00	30	30	0	
	東京六本木	3	81.00	50	51	1	Truk Lagoon	4	50.00	11	11	0	
	東京世田谷	3	93.28	56	56	0	国内83クラブ計			4,301	4,330	29	
	東京目黒	4	87.73	44	44	0	地区91クラブ計			4,610	4,637	27	
山の手西グループ	東京成城	4	82.76	22	22	0	千代田グループ	80.62	多摩南グループ	84.24			
	東京世田谷南	4	79.00	88	89	1	銀座・日本橋グループ	79.42	多摩中グループ	88.69			
	東京城南	3	57.00	34	35	1	京浜グループ	84.68	多摩東グループ	81.89			
	東京山の手	5	86.44	60	63	3	山の手東グループ	75.78	PBグループ	50.44			
	東京成城新	4	81.24	31	32	1	山の手西グループ	79.34	平均出席率	79.41			
	東京青山	3	75.90	29	29	0							
東京自由が丘	5	85.08	21	21	0								
東京世田谷中央	4	77.61	22	22	0								
東京米山友愛	3	66.67	27	28	1								

編集後記

ガバナー公式訪問が始まり、猛暑の中、第2750地区そしてパシフィック・ペイソンと大変ご苦勞様です。数か月にわたる大イベントです。ガバナー月信・IT委員会(年次報告書)メンバー及び会員皆様のあらゆる面でご支援・ご協力をお願い致します。

7月31日にインターアクト年次大会が開催されました。実行委員の皆様及び関係者の皆様ご苦勞様でした。

第2750地区に誇りが生れた。ガバナー月信・IT(年次報告書)の

仲間の木村清信氏(IT担当副委員長)は、2010年6月27日に第25回サロマ湖100km灼熱の中のウルトラマラソンに参加し完走した。「ポリオ撲滅・世界への贈り物」。この大きな目標を胸中に頑張る姿に感動です。ロータリー会員の皆様、大いにご賛同下さいますようお願い申し上げます。

2010-11年度は、スタートしたばかり、会員皆様の益々のご協力をお願い致します。

2010-11年度ガバナー月信・IT委員会 副委員長(年次報告書担当) 竹平 時彦 (東京大森RC)

国際ロータリー第2750地区 2010-11年 ガバナー 辰野 克彦

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2010-11 Governor Katsuhiko Tatsuno

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行:ガバナー 辰野 克彦(2010-11) ©Katsuhiko Tatsuno 2010

編集・制作:ガバナー月信・IT委員会 委員長 堀口 昇治 副委員長 山見 真弘 副委員長 木村 清信

副委員長(年次報告書担当) 竹平 時彦 Andrew WONG 島村 博之 望月 耕次 松田 美房 石黒 重徳 森本 行俊 清野 修一

浅見 省三 河村 勝久 坂場 一隆 Brian McDERMOTT

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>